

CHASE 療法

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

CHASE 療法

_____週を 1 コース _____コース予定

疾患名 悪性リンパ腫

主治医 _____ 指導医 _____ HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)

スケジュール

		day1	day2	day3
デキサメタゾン注	33 mg/body	↓	↓	↓
エトポシド	100 mg/m ²	↓	↓	↓
エンドキサン (シクロホスファミド)	1200 mg/m ²	↓		
シタラビン	2000 mg/m ²		↓	↓

- 【注意】
- * 初回投与時など腫瘍量が多い場合、尿量確保のため適宜補液を追加し、キサンチンオキシダーゼ阻害薬内服を考慮。
 - * 治療中は、ステロイド点眼を行う。
 - * エトポシドは溶解後結晶が析出するため用時 100mg を輸液 250mL 以上で溶解 (濃度 0.4mg/mL 以下の濃度になるように) し 30~60 分で点滴静注するのが望ましい。また DEHP フリー点滴セット(フィルターなし)を使用する。
 - * シクロホスファミドは 1 バイアル(100mg)あたり生食 5mL、1 バイアル(500mg)あたり生食 25mL で溶解後、混入するため 2000mg を超える場合は生食量を修正すること。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day 1 抗がん薬投与 1 時間半前にアプレピタントカプセル(125 mg) 1C 内服

- ① 生食 500mL で血管確保 維持(20mL/時間)
- ② デキサメタゾン注 33mg (10mL) + 生食 100mL 点滴静注 30 分
- ③ グラニセトロン注 3mg 1 筒 ④の 30 分前 静注
- ④ エトポシド + 生食 500mL 点滴静注 120 分
- ⑤ エンドキサン + 生食 100mL 点滴静注 120 分

(1 バイアル(100mg)あたり生食 5mL、1 バイアル(500mg)あたり生食 25mL で溶解後、混入するため 2000mg を超える場合は生食量を修正すること)

CHASE 療法

day 2 - 3 アプレピタントカプセル(80 mg) 1C 1×朝 内服

- ① 生食 500mL で血管確保 維持(20mL/時間)
- ② デキサメタゾン注 33mg (10mL) + 生食 100mL 点滴静注 30 分
- ③ グラニセトロン注 3mg 1筒 ④の 30 分前に静注
- ④ エトポシド + 生食 500mL 点滴静注 120 分
- ⑤ シタラビン + 生食 350mL 点滴静注 180 分

*生食 150mL をバッグから前もって抜いておく

day 4 デキサメタゾン錠 8 mg 朝 内服

コース	day 1	day 2	day 3
月日	/	/	/
デキサメタゾン 開始時刻	↓	↓	↓
エトポシド 開始時刻	↓	↓	↓
エンドキサン 開始時刻	↓		
シタラビン 開始時刻		↓	↓
確認			

コース	day 1	day 2	day 3
月日	/	/	/
デキサメタゾン 開始時刻	↓	↓	↓
エトポシド 開始時刻	↓	↓	↓
エンドキサン 開始時刻	↓		
シタラビン 開始時刻		↓	↓
確認			

CHASE 療法

コース	day 1	day 2	day 3
月日	/	/	/
デキサメタゾン 開始時刻	↓	↓	↓
エトポシド 開始時刻	↓	↓	↓
エンドキサン 開始時刻	↓		
シタラビン 開始時刻		↓	↓
確認			

コース	day 1	day 2	day 3
月日	/	/	/
デキサメタゾン 開始時刻	↓	↓	↓
エトポシド 開始時刻	↓	↓	↓
エンドキサン 開始時刻	↓		
シタラビン 開始時刻		↓	↓
確認			

コース	day 1	day 2	day 3
月日	/	/	/
デキサメタゾン 開始時刻	↓	↓	↓
エトポシド 開始時刻	↓	↓	↓
エンドキサン 開始時刻	↓		
シタラビン 開始時刻		↓	↓
確認			

CHASE 療法

コース	day 1	day 2	day 3
月日	/	/	/
デキサメタゾン 開始時刻	↓	↓	↓
エトポシド 開始時刻	↓	↓	↓
エンドキサン 開始時刻	↓		
シタラピン 開始時刻		↓	↓
確認			